

必読 ステンレスばね鋼帯入りテープの上手な貼り方

技術相談窓口 株式会社 ライトビームシステム技術センター
Tel.03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯Tel. 090-4518-1395

テープのステンレス鋼帯は、継目に生じる変形の復元力と平滑面保持のため、超硬度の“ばね鋼帯”を使用しております。そのため、“蛇行したり、たるみを残して貼る”と、“テープにフクレや残留歪が発生”してしまいます。不具合が出ないように以下を参考にテープを貼って下さい。

1 “フクレ・歪”防止には

- ① テープ接着面下地をパテで平滑に仕上げ、凹凸を無くしてからテーププライマーを塗布し、テープを貼って下さい。
- ② 蛇行しないで真直ぐに貼って下さい。
- ③ “コーナーテープ”貼着の場合
 - テープ長さを50cm程度に切断して貼る。
 - ボードの出隅をボードカンナで平滑に切削し、パテで平滑に仕上げ後、テープを貼る。
 - 継目は重ねないようにして貼着し、ローラーで下地に強く接着する。
 - ばね鋼帯の片側を規準に墨出し、“通り”を出して貼ると歪が出にくい。
 - “墨ツボ”：かせん白液またはチョーク白粉を使用（例：ポケチョーク）
 - 二人で連携して貼る。“通りを見る人”と“仮貼する人”との役割分担。
- ④ 石こう露出部は、必ず“エポシーラー（一液）”を塗布し固め、パテで平滑に仕上げして下さい。
 - ・接着面のパテが下地に強く付着していないと、衝撃時テープがパテごと剥がれてしまう。
- ⑤ テープ接着面のパテが乾くまで、テープを貼らないで下さい。
 - ・濡れ面にはテープは付着しません。
- ⑥ プラスチックまたはゴムローラーでフクレを除去しながら貼って下さい。
 - 注意
 - 1人で貼るとフクレがやすい。
 - テープ貼着下地のパテの未乾燥や凹凸は、テープのフクレ・浮きの原因となる。
 - “粒子が荒い厚付けパテ”で仕上げた租面にはテープは付着しません。必ず粒子の細かい仕上げパテで平滑に仕上げた面に貼着して下さい。

2 テープ貼着跡に“フクレ・浮き・筋状のシワ・歪”が出たら

- 注意 絶対にテープを剥さない!!
 - ・下地ボードの表面紙がテープと一緒に剥離してしまい、多大な補修手間を要してしまいます。
- 補修手順
 - Step1: リッターでフクレ部分のステンレスばね鋼帯幅分を切断する。
 - Step2: テープ切断部の裏側下地に、NONCRA®テーププライマーを塗布。
 - Step3: テープの切断末端部が跳ねないように、下地面側に曲げローラーで下地に強く圧着。
 - Step4: ホットボンドまたはタッカピンでステンレスばね鋼帯ミミを溶着または固定する。
 - Step5: “NONCRA®弾性コート”または“NONCRA®エポコート”で塗り固める。
 - Step6: 塗料が乾燥後、パテ塗補修し仕上げる。

3 “出入口扉・鉄骨階段室・天井空調吹き出し口廻りなど、振動が常時生じる場所

ステンレス鋼帯両端ミミ部に沿って、ホットボンド溶着またはタッカピン@5cmで留付固定。